

エマージェント バイオソリューションズ(EBS)

【セクター】 ヘルスケア

【市場】 NYSE

【企業概要】

1998年創業の特殊バイオ医薬品メーカーで、生物兵器や新たな感染症など公衆衛生上の脅威に対処するためのワクチン、医薬品を製造販売するほか、医薬品の受託製造サービスを提供しています。主要な医薬品には、炭疽病の予防に軍隊で使われる「BioThrax」、天然痘ワクチン「ACAM2000」（17年に買収）、麻薬中毒に対応するための「Narcan」（18年に買収）、コレラワクチン「VAXCHORA」などがあります。19年12月期の売上構成は、製品が82%、受託製造サービスが7%、開発助成金などが10%を占めます。

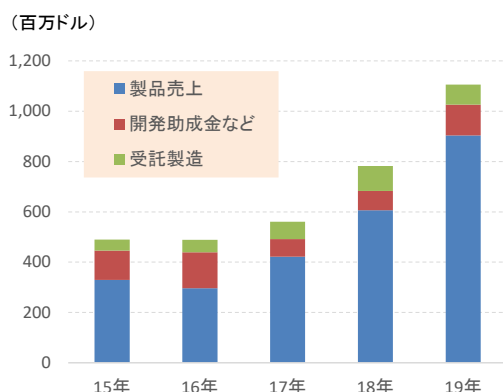
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
18年12月期	782	85	1.65	0.00	19.7	6.5	45.3
19年12月期	1,106	82	1.57	0.00	21.1	5.2	46.8
20年12月期予想	1,526	366	6.16	0.00	-	25.0	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 分野別売上



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

図表2 COVID-19向けワクチン開発に関するリリース

日付	リリース
3月10日	ノババックスのワクチン候補の受託製造で契約締結
3月11日	COVID-19の予防向け血しょう由来製剤の開発を開始
3月18日	ヴァクスアートのワクチン候補の製造受託で契約締結
4月2日	COVID-19の予防向け血しょう由来製剤の開発で米政府と提携
4月23日	ジョンソン&ジョンソンのリードワクチン候補の米国での受託製造で契約締結
6月1日	米政府による「ワープ・スピード計画」に受託製造の分野で参加
6月11日	アストラゼネカのワクチン候補の米国での受託製造で契約締結

(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

COVID-19のワクチン開発で、同社の受託製造サービスが注目されています。製品売上の多くが米国防総省や米保健福祉省向けで、もともと政府との関係が深い会社であり、米政府が推進するCOVID-19向けワクチン開発を迅速に進める「ワープ・スピード計画」では、ワクチン製造の分野で重要なポジションを占めているとみられます。図表2の通り、ノババックス、ヴァクスアート、ジョンソン&ジョンソン、アストラゼネカが開発しているワクチン候補の受託製造で契約を締結しているほか、同社主導で血しょう由来製剤の開発を行っています。

【見通し・注目点】

20年4-6月期は、炭疽病ワクチンや天然痘ワクチンが伸びて売上が前年同期比62%増、純利益は前年同期の赤字から93百万ドルの黒字に転換しました。受託製造もCOVID-19関連の貢献で売上は前年同期の13百万ドルから73百万ドルに増えています。通期のガイダンスは、主に受託製造の受注増加を受けて売上は11.75～12.75億ドルから15.00～16.00億ドルへ、調整後EBITDA（利払い、税金、償却前利益）は3.00～3.60億ドルから5.35～6.00億ドルに上方修正しています。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 20/8/5)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。